

SNS

「ロボin南相馬」  
もよろしくお願いします



Facebook



Twitter



YouTube



ロボ  
in 南相馬  
かわら版



令和4年  
3月15日

【お問い合わせ】  
商工労政課  
ロボット  
産業推進室  
電話  
0244(24)5335

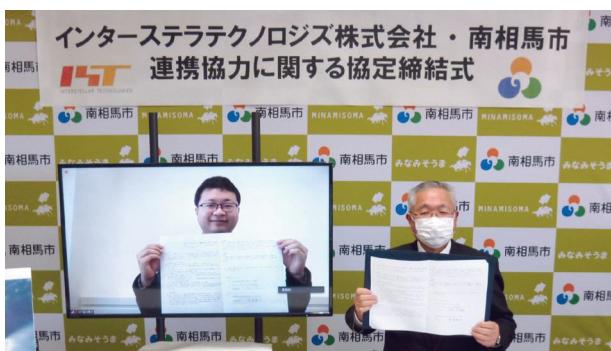
## 南相馬でロケット開発！

### インターフェラテクノロジズ株式会社と連携協定締結

2月9日、市は、実業家の堀江貴文氏が創業したロケット開発ベンチャーのインターフェラテクノロジズ株式会社と連携協定を締結しました。

この協定により、市内でのロケット・人工衛星開発を促進し、同社及び開発に協力する市内企業の企業価値向上等を図り、将来的な同社の市内での事業拡大を通じて市内経済の更なる発展を目指します。

同社は、新たなロケット「ZERO」を開



協定書を掲げる稻川代表取締役(左)と門馬市長(右)

## ロボット等の開発加速化！ 6社のVC等と連携協定締結

本市で新産業に取り組むスタートアップ企業の資金調達を支援する体制を整備することを目的に、29社のベンチャーキャピタル等(以下、VC等)の金融関連機関と連携協定を締結しています。この取組をさらに加速させるため、2月8日に新たに、アーキタイプベンチャーズ(株)、ANRI(株)、Kips(株)、株菊池製作所、東京大学協創プラットフォーム開発(株)、ニッセイ・キャピタル(株)の6社と連携協定を締結しました。

今後、連携協定締結記念式典及び市内進出ベンチャーとの交流イベントの開催を予定しています。

archetype\*  
ventures

anri

NCC

東大IPC  
Innovation Platform for The University of Tokyo

ものづくりに応えるものづくり  
株式会社 菊池製作所  
KIKUCHI SEISAKUSHO Co.,Ltd

Kips



(株)FaroStarが描く未来のSA・PAのイメージ

発中で、2023年度中の打ち上げを目指しております、ロケットの一部に市内企業が製造する部品が使われるとのことです。

市長は協定式で、「多くの市民にロケットという最先端技術に触れていただき、宇宙やロケットに対する希望や憧れの気持ちを抱いてもらいたい。将来的に、市の出身者がロケット開発に携われるような環境づくりにも取り組む」と語りました。

南相馬から宇宙へ！夢が広がります！



「ZERO」(長さ約24m、幅約1.7m)のイメージ

## 実証実験のお知らせ 「ドラぷらインノベーションラボ」

NEXCO東日本が募集したプログラム「ドラぷらインノベーションラボ」の一環で、新交通システム開発スタートアップの(株)FaroStarは、3月17日と18日にセデッテかしま東側の森林でドローンの飛行試験を行います。

この試験は、サービスエリア・パーキングエリア(以下、SA・PA)を活用し、新たなエアモビリティサービスの開発を目指すもので、今回の試験では、同社が開発したドローン同士の衝突を自動的に回避する自動管制システム等の試験になります。



# 【特集】産業創造センター入居企業に迫る！

南相馬市産業創造センターには様々な企業が入居し、日々研究・開発に取り組んでいます。本特集では、入居者の事業内容や、拠点設置の際に感じた南相馬市の魅力などについてお届けしています。今号では「株式会社 人機一体」に迫ります。



株式会社  
**人機一体** 代表取締役  
金岡 博士

南相馬市へ2019年12月に滋賀県草津市から進出しました。  
我々は立命館大学発のロボットベンチャー企業で、キャンパスの近くに「秘密基地人機一体」を構えています。  
進出のきっかけは、東日本大震災です。私は、立命館大学でロボット工学研究を行なっていましたが、震災の現場で先端ロボット工学技術が実用化されていない現実に衝撃を受けました。我々は災害対応ロボットメーカーではありませんが、南相馬市に設置した「福島基地」を拠点としてビジネスを進めることで、災害対応・復興という「重作業」を、人を危険に晒すことなく遂行できる「人型重機」の基盤技術を震災から力強く復興しつつある南相馬市発の技術として世界に発信できると期待しています。我々は「ロボット製造業」だと思われることが多いのですが、実は違います。ロボットの試作はしますが、製品はありません。我々は、重労働やロボット技術に関する課題を抱

えている事業者様に向けて、知的財産活用サービス「人機プラットフォーム」を提供しています。「先端ロボット工学技術を活用した知的財産」が我々の製品です。



零式人機 ver2.0 の CG

福島基地では、現在「人機ショベル ver.1.0」と「零式人機 ver.2.0」の開発をしています。「人機ショベル ver.1.0」は、「人機並進駆動ユニット」を用いた革新的パワーショベルで、完全電動でありながら力を高精度に操ることができ、さらに高出力、高耐久を実現します。「零式人機 ver.2.0」は、クレーンに「人型重機」上半身を搭載したロボットで、人が高所に登って行っている危険な作業をロボットに代替可能になります。

我々のロボットが実用化され、世の中の「苦役」を解消していくことが、南相馬の力強い復興を世界に示すためのささやかな貢献となれば嬉しいです。



零式人機と金岡博士

## サンタクロースも駆けつけた！ ロボテス見学会 on X'mas

2021年12月25日、福島ロボットテストフィールドで『ロボテス見学会 on X'mas』を開催しました。

市内ロボット関連企業や大学など15団体が参加し、各ブースで工夫を凝らした催しものが行われました。

会場には、サンタクロースが駆けつけており、(株)F-Designのロボットを使い子供たちにプレゼントを届けていました！

また、『みなみそうま未来えがき大使』せきぐちあいみさんやタレントのワッキー貝山さんもイベントに参加し、VRライブペイントやトークにより会場を沸かせました！



## 実用化されたら世界初！階段お掃除ロボットの実証実験が行われました

1月25日、南相馬市役所の階段で、(株)クフウシヤが開発中の「階段専用業務用ドライ掃除ロボット」の実証実験を行いました。



階段用の掃除ロボットは、世界でも実用化された例がなく、(株)クフウシヤのロボットが完成すれば、世界初の快挙です！

なお、ロボットの板金加工は、地元の(株)相馬製作所が行っており、進出企業と地元企業の協働も進んでいます。

市では、公共施設のほか、市内事業者等から実証場所の協力も受け、積極的に実証実験を支援しています。「実証実験がしたい！」という事業者様はぜひ、市までご連絡ください。



▲実証場所のパンフレット